

さあ、 伝説をひとつ つくりましょうか。

どんなに優秀なパーツを集めても、
いいギターになるとは限らない。
いいギターには、小手先の技術だけではどうにもならない
奥行きがある。もっと深く、もっと確かに。
ヤマハは、ギター本来の完成度を着実に高め、MGを創り上げた。
ラインナップは、アーティストモデル2本を含む7タイプ。
すべての個性が、ギタリストの創造力にジワリと迫る濃味を持っている。



MG

LET'S MAKE HISTORY.

PAPPARA KAWAI



パッパラー河合 BAKUFU-SLUMP

1969年9月14日生。千葉県出身。高校時代にサンバや中
国に魅了。上智大在学中「フーリッシュ」を結成し、ヤマ
ハ・レイアウトからデビュー。2007年横浜スラムクラブ結成。2014年レ
コードデビュー。デビュー以降高まるなど短期集中の活躍を注
目。2016年12月12日「BAKUFU-SLUMP」を解散。現在はギタ
リストとしてヤマハのアーティストとして人気を集める。代表作
として、

〈MGの印象〉いちばん気に入っている
ところは、やっぱりカタチ。コンバクトでカクコ
イ。前に雰囲気ある似たベースギター
(YAMAHA MB)を見た時に、こういうギ
ターがあればいいと思っていました。ひ
と目で好きになりました。もし、自分でデザ
インしたらこうなるんじゃないかなって感
じ。どこから見ても〇〇風みたいなデザ
インは嫌いんですけど、MGは柔軟性が
あるというか、オールマイティに使えますか

TAKAHIRO MATSUMOTO



松本孝弘 B'z

1961年3月27日生。大阪府出身。アパ時代に制作したブナ
チが解散したアパのメンバー。その後、高橋佳幸、森美
のスタジオメンバーとして参加。さらに、ライブメンバーとして、TMソフト
ワーク、浜田雅司の全部でアパに所属。そして2009年ソロア
ルバを発表。その後、松本孝弘の自給自足のグループ「B'z」を結成。
新時代の個性派バンドとして多くのファンを獲得している。

〈MGの印象〉昨年、TMネットワークの
ツアーから使いはじめたんだけど、ライ
ト&コンパクトなボディで音質重視って感
じだね。生音の響りもすごくいいギタ
ーだ。〈サウンド〉ディストーションをかけた
時、グシャッとせず、立ち上がりはしっかりして
いてクリーンになる。この音は僕にとって
重要な、バックアップの時によく使うから
ね。ハムバッカーはセレクトラスイッチと
連動したハイサウンドシステムでシングル

HIROKUNI KOREKATA



是方博邦

1995年3月3日生。兵庫県出身。15歳上原上、大村憲司、小
原礼、村上秀一らのバンド「カネサキ」に参加。17歳「B'z」の森
美孝弘のスタジオメンバーとして参加。その後、東京に拠る
バンド「カネサキ」のメンバーとして活動。現在は、東京に拠る
バンド「カネサキ」のメンバーとして活動している。

〈MGの印象〉どんなギターでもできあが
ってすぐは、まだ「木」なんだよね。ギターに
なってるじゃない。グインテジギター
の良さのひとつは、弾きながら、「木」が十分
に乾いて軽いのところにあると思う。MGの
場合、最初からそういう木を使っているから
軽い。これはステイジでありがたい。リ
ハムも含める

と3時間近く立ちっ放

YOSHIYUKI SAHASHI



佐橋佳幸

1961年9月7日生。東京都出身。中学時代にパンクバンド、
デモテープ制作から入り、高校時代に、清水博之、EDOに出
会い、1984年結成のバンド「CROSS」に参加。1987年「CROSS」を結成。
1988年、結成。1991年、結成。1992年、結成。1993年、結成。1994年、結成。
1995年、結成。1996年、結成。1997年、結成。1998年、結成。1999年、結成。
2000年、結成。2001年、結成。2002年、結成。2003年、結成。2004年、結成。
2005年、結成。2006年、結成。2007年、結成。2008年、結成。2009年、結成。
2010年、結成。2011年、結成。2012年、結成。2013年、結成。2014年、結成。
2015年、結成。2016年、結成。2017年、結成。2018年、結成。2019年、結成。
2020年、結成。2021年、結成。2022年、結成。2023年、結成。2024年、結成。

〈MGの印象〉すべてが僕にとって効果的
だね。コンバクトだし、ルックスもシャープ。
楽器がデカく見えちゃうないのがいい
ね。日本人に向いているんじゃないかな。
軽いら動きやすいしね。ヘッドの形も小
さくて、バランスがとれていると思うよ。
それに、カッピングに威力があるね。〈サウ
ンド〉僕はアンプとギターだけで音を削る
ことが多いので、P.U.の個性が重要にな
ってくんだけれど、3シングルコイルP.U.
のMGは、スイッチでいろんなパリエーシ
ョンの音が出せるからいいね。フロン
トとセンターのP.U.コンビネ
ーションで出すハーフトーンは、
よく使う音だよ。それに、もとも
との音がすごくクリアで、
ノイズを気にしなくてす
むのもありがたい。メケ
がいから、アンプのチューニングに特
経質になることもないし、コードの鳴りもす
くれていると思う。今までハードロックだ
けとかいうんじゃないやなくて、いろんな音楽に
対応できるギターだね。〈ギター歴〉中学
校に入る前、シンガーソングライターが流
行った頃、自分で曲を作って歌うのはカク
コイなと思ってアコースティックギターを
手に入れたんだ。曲を作るためにギターを
買えたかった。友達にいろいろな音楽を教
えてもらったりするうちにすっかり西海岸
少年になっちゃってね。そういうスタイルの
ギターばかり弾いてた。本格的にギターを
勉強したのは、EPDバンドを組んでから
かな。勉強したら、シンガーソングライター
からバンドのギタリストへと志が変わった
んだ。でも、もともとなっていたのはやっぱりフ
ォーク・ロック系の音だからね。今でもスタ
ジオでは、エレキギターとしても、アコース
ティックギターとしても頼まれるんだ。こう
いう感じでギターとつきあってくると、音はど
うしてもシングル系になる。僕がMGの3
シングルコイルP.U.モデルにたの。この
いう流れからなんだ。たのさんのジグ
ル系ギターを聞いたけど、MGにはダブル
だね。〈ギター選択のポイント〉デカイ音
でいろんな弾き方をして、ネックに響きか
返ってくるか。そして弾きやすさ。それ自体
でいい音がするか。ギターは自分の音楽
を創るための最も大事な手段だから、こ
だわって選ぶ。

らね。〈サウンド〉3シングルコイルP.U.
のパリエーションで、ファンキーなカチャカチ
ヤした音から、味わいのあるリードまで、こ
れもオールマイティにこなせるんですよ。フ
ロントP.U.は結構太い音で、ライブの
ソロでよく使ってます。それから、センターと
リアP.U.のコンビネーションで出すハーフ
トーンは、MGで初めて出た音です。
レコーディングの時に最高、求めていた見
つけられないけれど、いろいろ試したら見
つけた。ギターと対話しちやいましたね。
あったかい感じが気に入っています。〈プ
リアリアリティ&シエフアフレット数〉少な
かったり、ハイポジションが弾きにくい
のはイヤなんです。その点、MGは26フレ
ットであるし、スーパープレアリアリティ
サウンドシステムでネックを接合してあるか
ら、ハイポジションの弾きやすさは抜群。
手がジョイント部でひかからないですよ。
ほかのギターって、P.U.とかは新しくな
っているのに、こういう細かい部分はず
っと昔のままが多いからね。あと、ヘッドの
形がもたたりしてなくて好きだし、持った時
の全体のバランスも申し分ない。素晴らしい
と思います。〈ギターへのこだわり〉弾き
やすさか。そしてカタチが好きになってき
た。にはすごくこだわってる。流行のカッコだけ
じゃ定着しないでしょう。察して練習しよう
と思っても、弾けないカタチのギターとかあ
り。このカタチを捨てたくないから、これは
デカイですよ。好きなギターだと聞いてホ
レイにしてくれ、好きではない全然磨きま
せんからね。

になるから、フロント、センター、リアのコン
ビネーションが自由にできてサウンドの幅
が広い。例えば僕は、バックアップ、ソロ、カ
ッピング、アルペジオで使いわけてる。
P.U.のバランスがいいから、ジャンルを
問わず使えると思うよ。〈MG-Mのポイン
ト〉僕のものだけMG-Mは、音質を重視する
ため、必要なものだけを全部揃
えたところからスタートした結果、こういうシ
ンクルな感じになったんだ。ボディ、マテ
リアルにしても、極端な話、弾いてみてよければ
材はもんでいいと思う。この材で、と
いうより、音を第一にトータルで考えて最
高のコーポレーションを選んだ。音の立
ち上がりもカタチで、持った感じ、見た感
じも気に入っている。全体としては、ギ
ター本来の音を大切にしたいにしたいし
た。それで勝負できるギターになったと確
信している。〈ギターへのこだわり〉まず、シ
ンクルであることかな。ルックスも、目
ざと使っているけどどうでも違うものは、ず
っといいりするからね。最終的には、自分の
音楽を完たしてくれる音ということになる
と思う。〈ギタリストの個性〉自分の音を持
つことは大切だね。それからセンス、テク
ニクとかもね。もつてほしいことがあるん
ど、たまたまにすぎない。僕はギ
ターを弾くのかという、結局、自分がギ
タリストとして曲を聞かせるためなんだ
から、歌も、理想は変化してきている
ためにいいプレイをする。その中でいろいろ
自己表現できるか。それがセンスだと思っ
ている。MG-Mが完成したということ、
僕にとって理想のギターができたというこ
とだから、僕の個性もこれからどんどん引
き立ってくんじゃないかな。

しだからね。でも、
ボディが軽いって、音まで軽
くなっているわけじゃない。しっか
り重量感のある音が出る。これも、木が
いいせいでだろうね。カタチは、丸くてソ
フトで肌ざわりがいい感じが気に入ってよ。
〈サウンド〉今までは2ハムバッカーのギ
ターを使っていたんだけど、センターにシ
ングルコイルP.U.を搭載したMGはすごく
オールマイティだね。例えば、ソロの時
は太い音が出るし、バックアップではシャ
キヤキヤしたキレのいい音が出る。特に
シングルコイルP.U.のハーフトーンは、期
待通りだったね。〈パーツ〉モノクロニ
ットのVintage-Proは、キウワーンときさき
ないで軽くキレイにかかるといいね。ブリ
ッジはアップ・ダウン両方できるけど、僕は
今のところダウンだけに調整してある。こ
のあたりは自由に設定できるから、ア
ンクルでもスムーズ。それから、糸巻が
ズレをロックするマグナムロックシステムで、チュー
ニングが安定している。巻くのもすくらく
なんだよね。僕なんかひいて巻くして
ない。ロックされるから、それで大丈夫。弦が
切れてもすぐに交換できるから便利だ。
〈理想のサウンド〉ギターを弾きはじめた
ら、シングル系、ハムバッカー系など、い
ろんなギターを使ってきた。使いたって
したほうがいい。あんなほうがいい考
えてきた。だから、理想は変化して
んだけど、基本はやっぱりアノタなら
はのあったかい音だね。ボディは木である
か。そういう根本的な、ギターの大事など
ころはなしちゃいけない。それでいて完
成度が高ければ最高。いま、MGが一番
理想に近いね。